

7/11
Wed.



参加者に次々に質問を投げかけながら講演する 十萌子さん

組合員学習会「変える、変えない その前に 日本国憲法を知ろう」

憲法がふだんの暮らしに深く関わりがあることに気づかされました

武蔵浦和コミュニティセンターで、3生協32人が参加し、弁護士 十萌子さんを講師に開催。憲法と法律の違い、13条や14条をはじめ、条文に沿って、日本国憲法が伝えていることをお話いただき、憲法についてまず中身を知り、考えることが大切ということを知りました。参加者からは、「あまりにも無関心で無知だったことに気づかされました」「憲法カフェが広がるよう、何ができるか考えたい」などの感想が寄せられました。

7/13
Fri.



▲ 4グループにわかれて、活動を交流

▲ 高橋久仁子群馬大学名誉教授による講演

埼玉省委託事業

県内消費者団体全体研修会で、食についての正しい知識を学び、日頃の活動を交流

埼玉県内の20の消費者団体から53人が参加して、浦和コミュニティセンターで開催。午前中の学習会では、群馬大学名誉教授の高橋久仁子さんを講師にお迎えし「保健機能食品といわゆる『健康食品』～フードファディズムに要注意!!～」と題して学習をおこない、午後は、日頃の活動について、4グループにわかれて活動交流をおこないました。

写真 ニュース

発行:埼玉県生活協同組合連合会

2018・秋号 No.68



埼玉県マスコット「コバトン」



2018 コヨット in 埼玉
2018年8月7日～9日 フレンドシップハイツよしみ



▲ ユニセフ「貿易ゲーム」



▲ うどんづくり体験



▲ 勾玉(まがたま)づくり体験



▲ 鉄道博物館にて

TOP
NEWS

8/7-9
Tue. Thu.

2018コヨットin埼玉 (福島の子ども保養プロジェクト)

うどんづくりや勾玉づくり体験を満喫！ 楽しい思い出をたくさん持ち帰りました

埼玉県生協連と埼玉県ユニセフ協会共催、ボーイスカウト埼玉県連盟の協力で、福島の子どもたち(小学4年生～6年生)11人を迎え、吉見町を拠点に開催。7日は、歓迎のこぼ、埼玉県ユニセフ協会による「貿易ゲーム」、体育館での風船や空き缶を使った遊びやボーイスカウトかるた、8日は、地元の皆さんの協力で、東松山市民活動センターでのうどんづくり体験、吉見町埋蔵文化財センターでの吉見百穴見学と勾玉(まがたま)づくり体験、夜は体育館での光のキャンプファイヤー、9日は台風の影響で急遽鉄道博物館に行き先を変更し、見学や買い物を楽しみ、全員元気に帰途につきました。

7/29
Sun.



第33回埼玉県原爆死没者慰霊式 250人が参列、核兵器のない 平和な世界の実現を誓いました

埼玉県原爆被害者協議会主催・実行委員会(17団体)協力により、浦和コミュニティセンター多目的ホールで開催され、被爆者や遺族、県やさいたま市、各政党・団体の代表、実行委員会団体から約250人が参列。追悼合唱、死没者名簿奉納、黙祷、田中熙巳会長の慰霊の言葉、来賓挨拶と紹介、参列者による献花と折り鶴奉納、被爆の証言の朗読、最後に「原爆を許すまじ」を合唱しました。

6/26
Tue.



適格消費者団体 特定適格消費者団体 NPO法人埼玉消費者被害をなくす会総会・記念講演 第15回通常総会と特定適格消費者団体 認定記念シンポジウムを開催

浦和コミュニティセンター第15集会室にて、第15回通常総会を団体・個人正会員はじめ60名の出席で開催し、全議案が賛成多数で承認されました。その後、NHK解説委員 今井純子氏による集团的消費者被害回復制度についての講演と特定適格消費者団体3団体からの活動状況と課題などについてのシンポジウムが行われました。

8/26
Sun.

第39回九都県市合同防災訓練 (埼玉県会場) 防災フェアで生協の 防災の取り組みをアピール

蓮田市総合市民体育館パルシーを主会場に開催され、役職員・組合員計23人が参加し、パルシステム埼玉・生活クラブ生協・労済生協提供の物資配布訓練、医療生協さいたまによる握力チェック、コープみらいによる防災クイズとローリングストック商品展示を行い、のべ約1,500人に参加いただきました。



▲ 飲料や菓子などの配布訓練



▲ 握力チェック



▲ 防災クイズと商品展示

会員生協の取り組み

広がる県内生協の多彩な活動

生活協同組合コープみらい

21会場で子どもたちが環境について学びました

夏休みに、子どもたちが身近な場所で環境について学び、考える「エコたんけん隊」を、地域のブロック委員会が毎年開催しています。コープの店舗・宅配センターなど21会場で250人の子どもたちを含む274人が環境に配慮した商品を探したり、コープのリサイクルの取り組みを見学する「エコたんけん」や、ペットボトルや牛乳パックなどを使った工作やエコ料理を楽しみながら環境について学び、環境に配慮した生活をする意識が高まりました。

(右) ペットボトルや牛乳パックを使って工作を楽しみました(コープみずほ台店・富士見市)
(下) コープのお店で環境に配慮した商品を探しました(コープ今泉店・上尾市)



生活協同組合パルシステム埼玉

女性生産者交流会 みんなでお料理教室

8月28日(火)、組合員活動施設ぱる★てらすで、全国の5つの産直産地から女性生産者7名を迎え、組合員29名が交流を深めました。前半は、グループに分かれて生産者にインタビュー。プロフィールや産地の取り組みを模造紙にまとめ、組合員が各グループの生産者をユーモアたっぷりに紹介しました。後半は、生産者のみなさんの自慢の米や野菜、果物、梅干などを使い、食育サポーターの指導で料理作りを行いました。和気あいあいとした雰囲気の中、楽しいひとときを過ごしました。



生活クラブ生活協同組合

生活クラブのエコフェス「やってみよう エコな生活 クラブ流」

8月5日(日)川口リリア展示ホールにて開催し、生活クラブの環境活動を内外にアピール。新しく加入された方に、生活クラブの活動やグリーンシステム(リユース、リデュース、リサイクル)を楽しくご案内しました。来場者は100名で、新規加入や生活クラブでんきの申込みもありました。ロールペーパーやごみ回収袋などの生産者、埼玉県内で環境活動を行っている他団体も多く出展。子どもと一緒に楽しめる電動おもちゃの工作、せっけんワークショップ、アイス作りなども好評でした。



医療生協さいたま生活協同組合

「経済的事由による手遅れ死亡事例」についての記者会見を行いました

8月29日(水)、埼玉県民主医療機関連合会(埼玉民医連)は埼玉県政記者クラブにおいて、「経済的事由による手遅れ死亡事例」についての記者会見を行いました。今回は、埼玉協同病院(医療生協さいたま)での、無保険や経済的な困窮のために受診を控えて3人が亡くなった事例が報告されました。会見には新聞社・テレビ局など12社19人が出席し、会見内容は各種メディアで紹介されました。また、医療生協さいたま・生協歯科における「歯科治療中断事例」も報告されました。医療生協さいたまでは、無料低額診療事業の利用を呼びかけています。



会見で報告する埼玉協同病院・増田副院長(左)、生協歯科・鳥海泉治所長(右)



子どものその保育生活協同組合

記憶に残る夏休み

8月18、19日に理事会の「お父さんと遊ぼう委員会」主催のキャンプセミナーを、秩父のキャンプ場で行いました。70世帯二百数十人の大人と子どもたちが集いました。川遊びに興じたり、薪でご飯を炊いたり、キャンプファイアーを囲んで歌や踊りを楽しんだり。大人は夜遅くまで語り合い、親子ともども素敵な時間を過ごしました。初めてのキャンプという人も、理事さんたちのサポートで安心して参加でき、喜ばれました。

埼玉県労働者共済生活協同組合

地震や台風などへの「備え」を呼びかけました

毎年3月11日の埼玉県労働者共済生活協同組合(全労済埼玉推進本部)創立記念日に実施している「労済デー」(全労済運動の告知活動)を、2018年度は試行的に年2回の実施とし、地震や台風などの自然災害に対する「備え」を県民に広く訴求するために、9月5日に「第1回労済デー」を実施しました。当日は、県内6カ所の駅頭において協力団体を中心とした119名の参加のもと、約13,000部のチラシを配布しました。



跡見学園女子大学生生活協同組合

パソコンレポート交流会を開催しました

■5/30・6/6・6/14の3回実施
■パソコン購入者154名対象 参加33名
「レポートが大事なのはわかるけど、具体的に何をどうすればいいかわからない!」という声に応えた企画。先輩が「自分のベストレポート」をもとにアドバイスし、同時に、せっかく生協でパソコンを買ったのに使い方が分からない悩みも先輩に相談して解消しました。「実物のレポートを見て参考になった」という感想が多数でした。